

# こん虫のかんさつ

教科書出版社名（ 啓林館 ）

○ 小学校（ 3 ）年 教科等（ 理科 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・昆虫について、昆虫のくらしている場所、食べ物、からだのつくりや育ちなどこれまでに学んだことをしっかりと定着させる。
- ・自分たちが捕まえた昆虫や身の回りでよく見かける昆虫と、1学期に学んだ「チョウ」を比較し、似ていることや異なることに気づくことができる。
- ・自分の捕まえた昆虫やお気に入りの昆虫について調べ、「昆虫図鑑」としてまとめることができる。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・昆虫図鑑や、それぞれの昆虫について詳しく書かれた科学絵本などを複数用意する。
- ・できるだけ多くの図書をそろえるために、公共図書館等と連携し準備する。

○ 学習の展開（全14時間）

第1次	・学習計画を立てる。
第2次	・昆虫採集をする。 ・捕まえてきた昆虫どうしを比べ、似ているところがないか考える。 ・1学期に育てた「チョウ」の育ちと、それ以外の昆虫の育ちについて、どんなところが違うかを考える。
第3次	・「3年〇組 こん虫図かん」を作るための学習計画を立てる。 ・自分が捕まえた昆虫やお気に入りの昆虫について、図鑑で大まかなことを捉える。 ・それぞれの昆虫の住みか・からだのつくり・食べ物・育ちについて、図書資料を使って調べ、付箋に記録する。 ・「こん虫図かん」に載せたい情報（付箋）を絞り、清書する。 ・出来上がった昆虫図鑑を読み合う。（図書館に置く・掲示する）

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・複数の資料の中から、自分が知りたい情報を探し出すだけでなく、新たな発見や驚いたことなども見つけることができていた。
② 課題	・自校の学校図書館の蔵書に図鑑が少なかったため、公立図書館に問い合わせたが数冊しかなかったため、他校の学校図書館とも連携して20冊用意することができた。 ・今年度ポケット図鑑を複数冊購入したが、一度に必要な数をそろえることが課題である。
③ 児童の感想・ふりかえり	・昆虫のことについて「物知り」になることができた。 ・本を読んで調べるのは大変だったけど、調べるといういろいろなことがわかって楽しかった。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・昆虫の学習が始まってすぐに、廊下にブックトラックを用意し、子どもたちが自由に本をさわるようにした。 ・資料が足りない場合はコピーをするのも良いと思うが、子どもたちが本を開いて自分で知りたいことを自力で見つけられるようにしたいと考えた。そこで、自校だけでなく公立図書館ともあわせて今回の学習課題に有効な本を選書した。 ・1学期に国語科で「図鑑の調べ方」を学習していたので、その時に学んだ調べ方を子どもたちも覚えており、スムーズに活動することができた。 ・ピンク・水色・黄色の付箋を準備し、分かったことを項目ごとに色分けをして記録することで、調べた項目がわかるようにした。
--

児童の作成した「昆虫図鑑」

オオカマキリのひみつ★

カマキリのメスはオスをたべることがある

カマキリはおこるとはねを広げる。

しよくじのあとかまをそうじする

カマキリの目は昼と夜とで目のしくみがかわり夜でもかつどうすることができます。

カマキリはたまごはあむにつつまれている。

カマキリは水田のへりやそうげんのあかいる所にすむ。

カマキリは、たまごで冬をこし、春によう虫が生まれる。

あしにとげがある。

カマキリの前足はカマとおなじ形をしている

ピンク→そだち方  
緑→おんい場所  
いろうまう

カナブン

★  
7月から8月にでてくる。

カナブンはコガネ虫かです。

せい虫はじいえきを食べる。

口はし、えきをなめるために舌がはえている。

足はおなからはえている。

すみか  
里山のじいえきのある木。

★  
まき物は食べ物のあるところをすみかにする。

そだち方  
たまごよう虫さなぎせい虫

体作り  
豆莢、むねはらのうーに分かれています。

足は木にしがみついたためとげとげしています

カナブンの写真

こん虫なので足は、6本。

大きさは23~29cm

目はしよくかくのちかくにある。

カナブンは、しよくかくがありしよくかくでかんじとている。

はねは4まいある。